

認知症看護論

単位数：2単位（時間数：30時間）

開講年次及び学期：1年次後期

○原 祥子：地域・老年看護学講座 教授
浦上 克哉：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授
空先 育子：医療法人社団創健会松江記念病院 看護師長
（老人看護専門看護師）

1. 科目の教育方針

認知症高齢者とその家族の生活環境や生活活動の調整、家族関係の調整のための具体的援助、それらに関する看護職への教育、看護職を含むケア提供者に対する相談、保健医療福祉ニーズのケア調整、倫理的課題への調整の機能を果たすことのできる能力を開発する。

2. 教育目標

- 1) 認知症の診断（評価）と病態像及び障害像、最新の治療について理解する。
- 2) 認知症の人の障害像から生活に及ぼす影響について適切に判断できる能力を養う。
- 3) 認知症の種類、症状、経過にそった、生活環境調整・生活活動調整・家族関係の調整に関する看護援助に関する理論と実際を学ぶ。
- 4) 認知症高齢者ケアにかかわるスタッフへの教育・相談の実際を学ぶ。
- 5) 認知症高齢者とその家族に対する資源の活用の実際を学ぶ。
- 6) 認知症高齢者の人権擁護と倫理的調整の実際を学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度、課題レポート（テーマ：認知症看護をめぐる課題・背景要因・課題解決のための方略の提言）等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) 小澤勲：認知症とは何か，岩波書店，2005.
- 2) 池田学：認知症，中公新書，2010.
- 3) クリスティーン・ボーデン：私は誰になっていくの？，クリエイツかもがわ，2003.
- 4) 浦上克哉：これでわかる認知症診療（改訂第2版），南江堂，2012.
- 5) トム・キッド・ウット（高橋誠一訳）：認知症のパーソンセンタードケア，クリエイツかもがわ，2017.
- 6) 中島紀恵子，他編著：新版 認知症の人々の看護，医歯薬出版，2017.
- 7) 児玉桂子，他編：痴呆性高齢者が安心できるケア環境づくり，彰国社，2003.
- 8) Jacqueline Kindell（金子芳洋訳）：認知症と食べる障害，医歯薬出版，2005.
- 9) ビッキー・デグラーク・ルビン：認知症ケアのバリデーション・テクニック，筒井書房，2009.
- 10) 日本神経学会監修：認知症疾患治療ガイドライン 2010 コンパクト版 2012，医学書院，2012.

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	認知症の概念と定義 認知症とともに生きる人の理解	原
2	認知症高齢者看護の専門性と役割	原
3	認知症をきたす疾患への理解	浦上
4	認知症の治療と今後の展望	浦上
5	認知症高齢者のアセスメントと看護援助 ・生活環境・生活活動の調整	原
6	・認知症高齢者に対するアクティビティケアの理念と実際 (回想法、ライフストーリー・アプローチ、リアリティ・オリエンテーションを含む)	原
7	パーソンセンタードケアの理論と実践 * 講義と討論 ・「その人らしさ」の概念、理論の背景 ・パーソンセンタード・アプローチの展望と評価	原
8	・認知症ケアにおける課題：相互行為の質の改善 ・パーソンセンタードケアを実践するための組織上の課題 ・職員のケアと教育、チーム作り	原
9	認知症ケアにおけるアセスメントとケアマネジメント ・認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式 ・グループホーム・在宅における認知症ケアの実際と質評価	原
10	認知症ケアと薬物療法	原
11	認知症者に対する療法プログラムやアプローチ・アクティビティケアの理念と実際 (回想法(ライフレビュー)、バリテーション・テクニック、園芸療法、アートセラピーなど) *療法プログラム等から1つを選択、文献(実践報告を含む)検討のうえ プレゼンテーション	原
12	認知症高齢者の人権と生活を支える制度、適切な資源の活用 事例検討 * 討論	原
13	認知症高齢者ケアにおける老人看護 CNS の実践・相談・教育の実際 ・生活環境と生活活動の調整	空先
14	・認知症高齢者の介護家族支援と家族関係の調整	空先
15	認知症高齢者ケアにおける倫理調整の実際 ・認知症ターミナルケアの倫理的課題を含む	空先